

1 班	困りごと	困っている人 (どういう人、何人くらい)	考えられる対応策
-----	------	----------------------	----------

<p>今</p>	<p>子ども</p> <p>グメ出し できん 鴨が泳い</p> <p>地区の自治会 の説明会に 来ない。(興味 もてない)</p> <p>□演会 を用いた</p> <p>20+20 地域交流イベント で皆何を しているか不明</p> <p>地域の高齢化 若い人が少ない</p> <p>透明 マク</p> <p>移住者の 相談場所</p> <p>像く場所 が少くない</p> <p>起業支援 アイデアを 形にできる プラットフォーム</p>	<p>地域</p> <p>地域の高齢化 若い人が少ない</p> <p>挨拶を したいの で"まが"...</p>	<p>地域</p> <p>公民館活動 地区と協力の 活性化 →地域が活性化 しやすくなる</p> <p>シニグル マナーに 特化</p> <p>イベント お知らず 方法</p> <p>イベント バスに乗る? 集まる 特技得資格</p> <p>IT塾 みんなが ラインを学ぶ</p> <p>イベント オンライン アカウントの 活用</p> <p>高齢者 移動の難しさに 対応する 設備 整備</p> <p>代行 可能</p>
----------	---	--	---

<p>2・3 近い将来 先くらい</p>	<p>くらし</p> <p>夜道が 暗い</p> <p>飲み屋が 少ない</p> <p>地域のつながり 少ないので 防犯に不安</p> <p>夜道が暗い 日曜日にコンビニ しまっている店 を減らす</p> <p>スーパーまで 車で行くのは 大変</p> <p>交流事業 に必要 マイクロバス (20人)</p>	<p>医療</p> <p>専門の医療 機関 なく、遠い</p>	<p>医療 交通</p> <p>専門 病院</p> <p>健康寿命 伸ばす 取り組み</p> <p>子ども</p> <p>教育のしくみ 小中高校 など新しい しくみ</p> <p>仕事</p> <p>AI・ロボットの 活用</p> <p>大塚 工場 で働き</p>
------------------------------	---	---	--

<p>10 年以内</p>	<p>地域</p> <p>ITリテラシー インターネット ヒカを活用 できる人と差 を縮める</p> <p>自治会が なり、自治会が 担っていた機能 が地域に 移る</p> <p>地域の後継者 負担を増やそう</p> <p>地域の文化 を継承する 基金作り</p> <p>道切りなど 環境保全 意識を 高める</p>	<p>医療 交通</p> <p>バス 1日 本数</p> <p>病院 1軒 増やす 今より多い</p>	<p>会話 (笑)</p> <p>子ども</p> <p>子どもが 進学が 大変</p> <p>177の 学校の 生徒が 少ない</p> <p>農業 部活 指導員 の 担い手不足</p> <p>資金 山の 継承</p> <p>AI・ロボットの 活用 を 進める</p>
-------------------	--	---	---

2 班

困りごと

困っている人 (どういう人、何人くらい)

考えられる対応策

今

子育て
 子育てが辛い
 保育所
 小学校が
 空くという
 (子ども子育て世帯)

土地
 土地の管理が
 むづかしい
 土地所有地の
 管理 (所有権)
 (草刈りなど)
 (貸家)

防災
 自然災害
 のときの
 避難場所を
 避難ルート

高齢者
 (施設や在宅)
 高齢者

若年層
 (通学用)
 若年層

高齢者 ①
 ・1人暮らし
 高齢者
 (施設や在宅)
 高齢者

土地所有者
 土地
 所有者

子育て世帯

若年層
 (通学用)
 若年層

花火大会
 (一般市民向け)
 開催

大規模農業法人
 の設立
 (法人化)
 (法人化による
 経営の効率化)

農業のDX
 (IT化)
 → 市や県
 学校跡地の
 活用で野菜
 工場をL5
 (照明、空調の
 有効利用)

企業版
 自治体内に
 積極的に
 取り組む

リモートワーク
 向けの施策

SNSを
 活性化
 (高齢者は7割以上)

2Q1こと
 協定を結ぶ

移動販売法人
 の設立

企業版
 自治体内に
 積極的に
 取り組む

2・3年先くらい

高齢化
 高齢化が進む
 運転しにくい車
 が多くある
 事故が起きる
 車無(びは
 びこにも
 行けない
 (子ども、高齢者)

交通
 交通
 買物に不便
 がある

農業
 農業が
 困る
 買物に不便
 がある

ネット環境
 ネット環境
 が弱い
 ネットワーク
 回線が
 ケーブルのみ
 (家族、自営業)

買物
 買物に不便
 がある

高齢者
 (施設や在宅)
 高齢者

土地所有者
 土地
 所有者

子育て世帯

若年層
 (通学用)
 若年層

若年層
 (通学用)
 若年層

住民の集約
 (中心地区)

中学生用の茶
 室づくり、平日は
 学校で使われる
 通学で使うに
 する

若者向けイベント
 による住民協働

介護のニーズ
 に対応する
 仕組みづくり

11. Yのこ
 定年退職者
 9-11に12
 年まで住む
 仕組みづくり

Ec+IT
 の代行業者
 基本に
 開通員など
 IT企業、地域
 連携

4年以内
 人材確保のため
 長年住む
 条件を改善

10年以内

農業
 農業・畜産
 後継者不足
 野山焼き
 の継承が
 心配

介護
 介護の必要
 世帯が増える
 親の介護
 (介護と両立
 を進めたい)

教育
 通学(時間)が
 かかる
 (通学用)
 1校のみ
 1校のみ
 個人商店が
 なくなる

地域・自治体
 地域・自治体
 コリフ世界
 (科連から1-2世帯)
 の発生
 自治会が
 成立している
 (戸数減
 参加者減少)

人口が減少して
 売上などが減り
 維持が難しくなる
 (お店など)

子ども
 子どもが
 高校生
 (7割は7割)

若年層
 (通学用)
 若年層

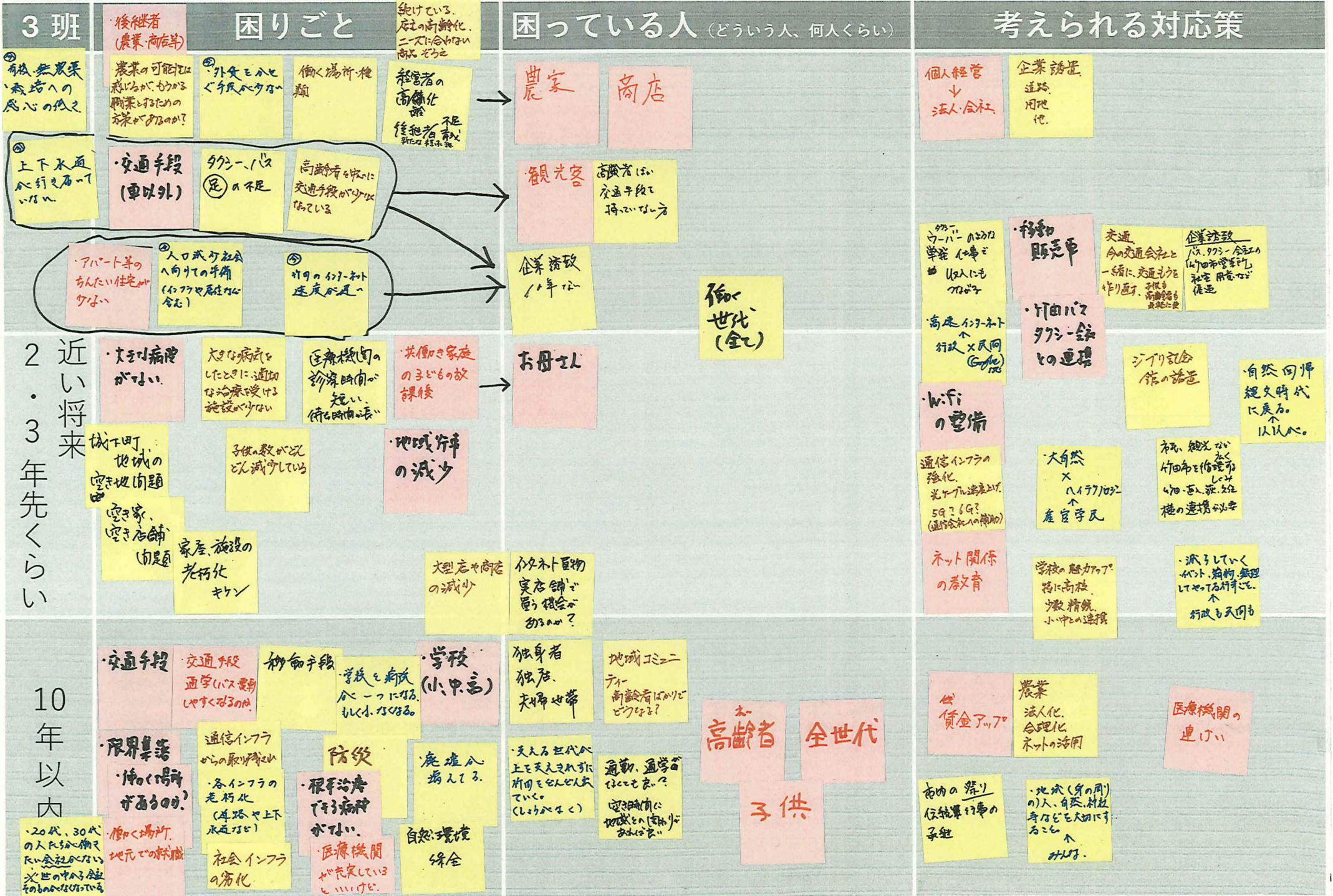
若年層
 (通学用)
 若年層

共同購入
 のため、市販品
 国(生産者)に
 働きかける

共同購入
 (10人乗りワゴン
 台)を1台
 共有する

共同購入
 (10人乗りワゴン
 台)を1台
 共有する

共同購入
 (10人乗りワゴン
 台)を1台
 共有する



4 班

困りごと

困っている人 (どういう人、何人くらい)

考えられる対応策

病気になる
たときの不安

電車が
少ない

高齢化
人口減少

店が
少ない

物(場所)
あるが利用
しない

学校が
遠い

山が
荒れている

若者
(シニア)

高齢者
(老物)

親を介護
している
地域の
人(5割)

機械化

水準の高い
医療・介護
サービスの提供

今
親の介護
(妻と夫の
両方の介護)

公共交通
不便
公共交通
の減少
未来、高齢
に力、足と
移動手段

高齢者多
若くは
見え
ない
子どもが
少ない
定住率
低下

コンビニ
が少ない

所得水準
低い
利用
しない

田や山の
管理が
できない

近隣土地の
境界が
わからなく
なる

若者
学生
(通学)

転居
できない
田や山の
所有者

自治会
(2000人
程度)

物ごとの削減
省力化

ITサービスの
活用

2・3
近い将来
年先くらい

高齢者
一人暮らし
が孤立死

子どもが
少ない
若くは
見え
ない

コンビニ
が少ない

所得水準
低い
利用
しない

田や山の
管理が
できない

近隣土地の
境界が
わからなく
なる

中学生
高校生
子育て
世代、
転入者

一人暮らし
(高齢者)

所得水準
低い
一人暮らし
(高齢者)

観光客を増
やす
城下町に
お土産店を
増やす(由布院)

人口不足
若くは
見え
ない
若くは
見え
ない

10
年以内

公共交通
が不便
公共交通
サービスの
減少
2-3割の
削減には
対応

高齢者
人口減少
子どもが
少ない
若くは
見え
ない

コンビニ
が少ない

所得水準
低い
利用
しない

田や山の
管理が
できない

近隣土地の
境界が
わからなく
なる

自治会
が取り
つかない

子育て
世代、
転入者

一人暮らし
(高齢者)

観光客を増
やす
城下町に
お土産店を
増やす(由布院)

人口不足
若くは
見え
ない

10
年以内

公共交通
が不便
公共交通
サービスの
減少
2-3割の
削減には
対応

高齢者
人口減少
子どもが
少ない
若くは
見え
ない

コンビニ
が少ない

所得水準
低い
利用
しない

田や山の
管理が
できない

近隣土地の
境界が
わからなく
なる

自治会
が取り
つかない

子育て
世代、
転入者

一人暮らし
(高齢者)

観光客を増
やす
城下町に
お土産店を
増やす(由布院)

人口不足
若くは
見え
ない

10
年以内

公共交通
が不便
公共交通
サービスの
減少
2-3割の
削減には
対応

高齢者
人口減少
子どもが
少ない
若くは
見え
ない

コンビニ
が少ない

所得水準
低い
利用
しない

田や山の
管理が
できない

近隣土地の
境界が
わからなく
なる

自治会
が取り
つかない

子育て
世代、
転入者

一人暮らし
(高齢者)

観光客を増
やす
城下町に
お土産店を
増やす(由布院)

人口不足
若くは
見え
ない

5 班

困りごと

困っている人 (どういう人、何人くらい)

考えられる対応策

今

近い将来
2・3年先くらい

10年以内

